

CEFR-J レベル

B1.1

技能

Spoken Production

Can Do descriptor

使える語句や表現を繋いで、自分の経験や夢、希望を順序だて、話しを広げながら、ある程度詳しく語ることができる。

あなたは英語で授業を行なう学校に進学するつもりです。志望校の入学試験に、英語での面接があります。面接室に入ると、面接官から次の問いかけがあります。

I think you have put a lot of effort into schoolwork, after-school programs, community service, and other activities in high school. Please choose one of them and tell me about it. You may want to describe its fun part as well as its difficult part, how you planned it and carried it out, and what you learned from the experience.

あなたはこの問いかけにどう答えますか。目の前に面接官がいると想定して話してください。なおこの面接では、(1)筋道立てて話ができること、(2)自分の考えを言えること、が評価されます。準備時間は3分、話す時間は1分です。

解答例

The most important part of my high school life was playing the violin in the local orchestra. We practiced every Saturday in the community center and gave a concert in November. Most members were adults who have been playing their instruments for many years. In fact, some of them graduated from music schools. It was tough to keep up with them, so I studied my part very hard at home. Then, other members noticed I was making an extra effort, and started to give me advice and words of encouragement. I learned that if I help myself, others help me. That is how I improved my performance skill.

採点基準

A：自分が熱心に取り組んだことについて、具体的な内容と自分の感想や考えを含めて、一貫性のある話をしている。文法をかなり正確に用いることができる。気になるような休止はほとんどない。

B：自分が熱心に取り組んだことについて、ある程度具体的な内容と自分の感想や考えを含めて、わかりやすく話を進めることができる。頻繁に使われる定型表現や文構造をかなり正確に使うことができる。時折、言いよどみや言い直しが見られる。

C：自分が熱心に取り組んだことについて話しているが、経験に関する具体性が欠けており、面接への応答として十分ではない。あるいは事実を羅列しており、自分の感想や考えを述べていない。簡単な文構造は正しく用いることができるが、依然として決まっておかず基本的な文法の誤りがある。言いよどみや言い直しが目立つ。

D：自分が熱心に取り組んだことについて話しているが、語彙がきわめて限られ情報量に乏しい。話す内容のいくつかの要素を結びつけることができず、断片的である。あるいは語彙や文法の基本的な誤りのためにほぼ理解不能である。休止が目立つ。

(A：当該レベルより上、B：ちょうど当該レベル、C：当該レベルに少し届かない、

D：当該レベルに全く届かない)

開発段階

第1期(作成) 第1期(実施) 第1期(分析)

第2期(改訂) **第2期(実施)** 第2期(分析)

メモ

面接というフォーマルな場面であり、「筋道だてて」という指示があるので、ある程度頑健な構成が求められる。また、制限時間の遵守にも一定の厳密さを求める。内容が十分で約 50 秒以上話していれば、A もしくは B 評価とする。なお、解答例を理解できる発音で、目立った休止なく話せれば、A 評価である。

開発担当者

高田 智子